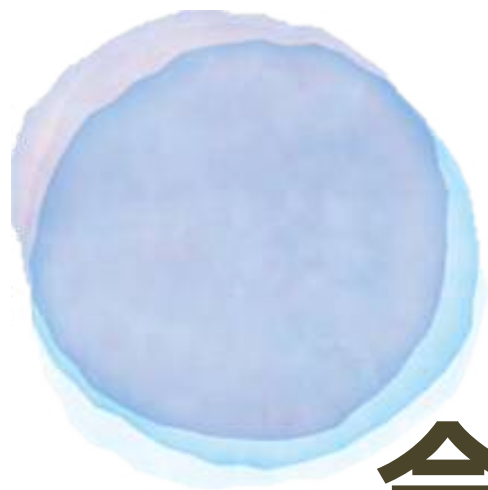


令和元年度の 取組み





今年度の 新しい取組み



地元農地を使った微気象の研究により、 新たな連携体制が実現！

3

農 2 栽培技術の向上に向けた取組みの検討・実施

農産物等研究専門部会



これまでのアスパラガスの研究に加え、
新たに始まった微気象の研究成果も地元還元
されている。



地域内での気象の差異に着目し、
特徴に応じた作物の栽培を研究！

農家に協力を得ながら、農地に機材を設置

⇒研究成果をもとにした、黒川地域でのより一層の農業活性化に期待。

様々な主体の関わりにより、 黒川地域の魅力を発信！

地4 地元主催アートイベントへの協力

地域活性化専門部会



全25作品!!

2019.10.31 カメラ イベント

「緑と道の美術展 in 黒川 2019」SIGMAデジタルカメラ貸し出し体験会 開催のお知らせ

弊社は、2019年11月23日（土）に、川崎市麻生区の黒川地区で実施される「緑と道の美術展 in 黒川 2019」（<https://www.facebook.com/緑と道の美術展-192608836208079/>）にあわせ、SIGMAのデジタルカメラをご体感いただける貸し出し体験会を開催いたします。

体験会では「SIGMA fp」や「SIGMA sd Quattro」、 「SIGMA dp Quattroシリーズ」などのデジタルカメラの貸し出しを行い、多方面で活躍する作家のアート作品が展示される「緑と道の美術展 in 黒川 2019」の実施エリアを自由に撮影していただけます。※

※デジタルカメラの貸し出しには、運転免許証、パスポート、マイナンバーカード等の顔写真付きの公的な身分証明書のご提示が必要です。また、デジタルカメラでの撮影には記録メディア（SD、SDHC、SDXCカード）が必要となります。



目標達成!!



53名が参加!!

アートツアーにも市内外から53名が参加し、地域の魅力をPR



レンズメーカーによる機器の貸出し体験が黒川を訪れるきっかけに



美術展を支援する新たな取り組みとしてクラウドファンディングを実施。

⇒企業や市内外の人々の関わりによって新たな地域連携のきっかけになった。



収穫祭との連携により、 取組み周知と地域のPRに貢献！

里1 竹を使ったワークショップの実施

里地里山保全利活用専門部会

事前受付：18組
当日受付：27組



竹あんどんづくりは4回目を迎え、実施までの準備や技術指導も向上し、運営もスムーズに実施された



普段は体験できない経験に参加者の満足度も高い



収穫祭への出店によって、当日受付も行い、参加者数が増加し、より地域を知るイベントとなった

⇒収穫祭との連携により、活動の幅が広がり地域資源のPRができた。

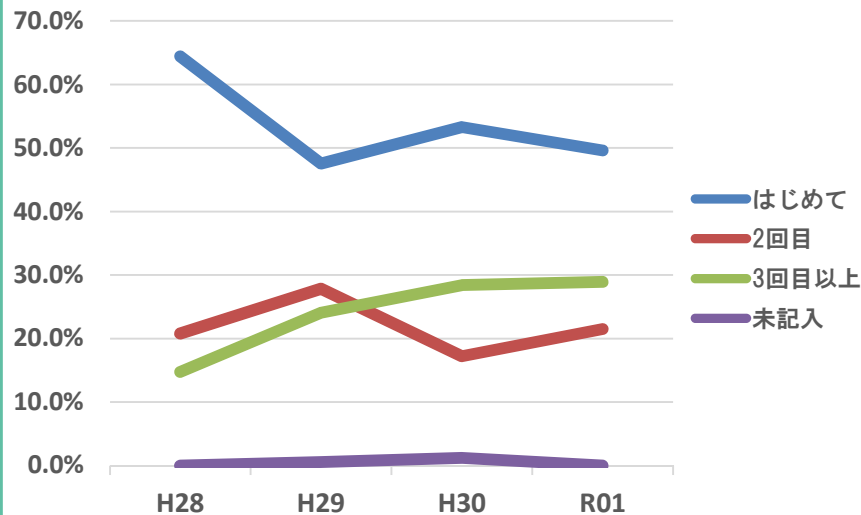


各取組みにおける アンケート結果



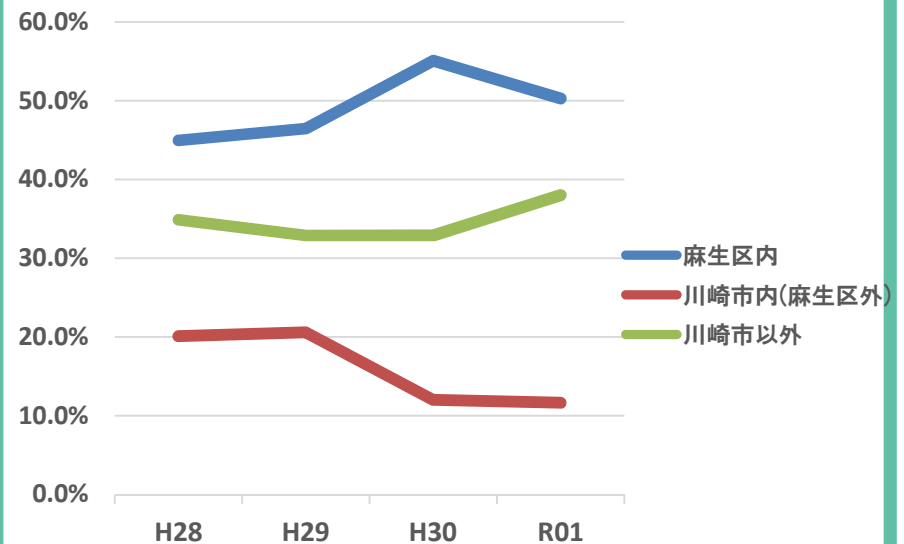
明治大学収穫祭 アンケート結果

■ 収穫祭にこれまで何回来場されましたか。



はじめての来場者がやや減少傾向で、
2回目以上のリピーターが増加している。

■ お住まいはどちらですか。



来場者の約半分は麻生区内だが、
近年では川崎市外からの来場者も増加傾向。

⇒回数を重ねることで、区内外へ収穫祭が認知されてきた。



明治大学収穫祭 アンケート結果

■ 収穫祭での「農と環境を活かしたまちづくり」取組や黒川の地域への感想

- 地元の野菜が買えたことが子供の勉強になった
- 黒川が活性化されているのがわかった
- 若い方も農業に携わっていることがわかり応援したくなった
- 地域と大学が連携しているのが素晴らしい

■ 今後の取組でやってほしい、やってみたい。

体験イベントなど

- 農業体験をやってみたい
- 苗を植えたり、田植えをしたい
- タケノコ掘りがしたい
- 地場野菜を使った料理教室
- 自然観察会をしたい
- 森の散策イベント
- 外国人観光客に魅力を伝えるツアー

美術展

- 美術展鑑賞の機会があれば参加したい
- アートと農場のコラボ
- 和光大のアートイベントも再開してほしい

地元との交流

- 地域の農家さん巡りをしたい
- 地元住民参加イベント

講習会

- 農作物に関する講習会
- 環境保全を題材にした企画等

魅力発信

- 風景も良いので写真などでPR
- Webでもっと情報を載せてほしい

農業活性

- 農地のレンタル
- 農業を通じた地域コミュニティの活性化
- 野菜販売所の場所を網羅した地図作成やスタンプラリー

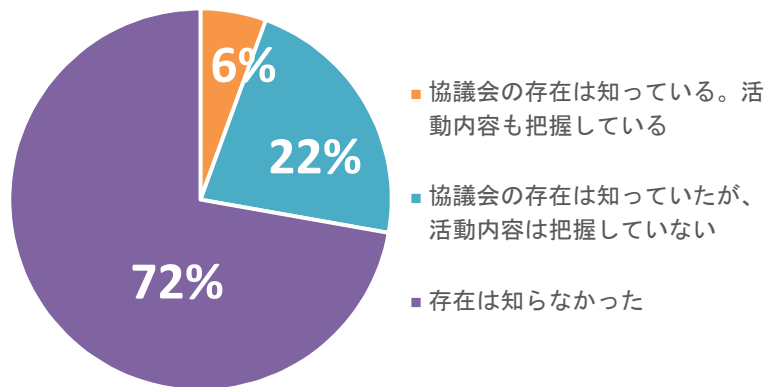
⇒農や自然環境を活かした取組みへのニーズがある。



協議会の認知度や協議会の活動内容の認知度

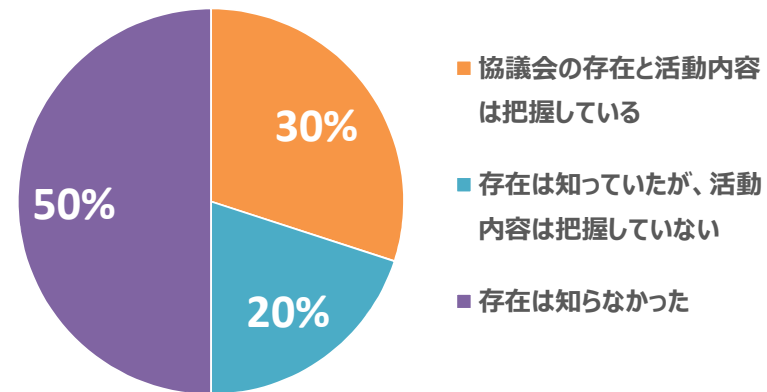
■ トマト&ブルーベリー収穫体験（7月実施）

回答者数：18名



■ 大根収穫&加工品づくり（12月実施）

回答者数：11名



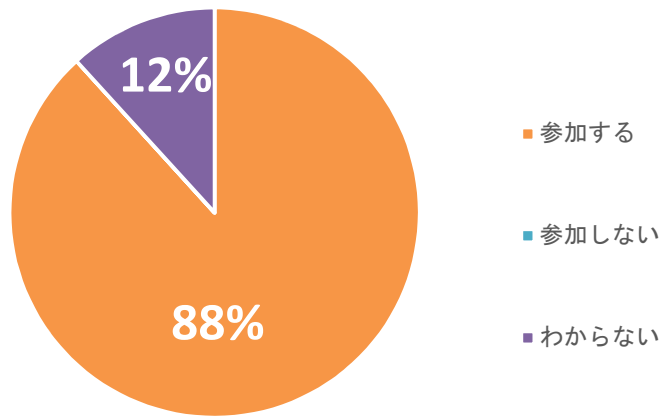
⇒イベントによって認知度と活動内容の認知度は異なるが、
今後も協議会の取組みを周知していく必要がある。



イベントへの実費相当額の負担があった場合の参加可否

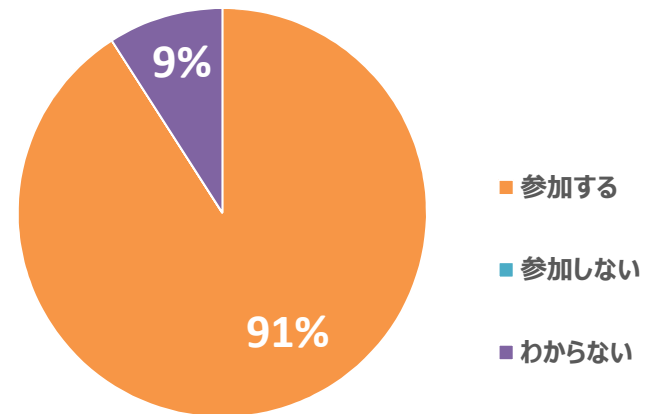
■ トマト&ブルーベリー収穫体験（7月実施）

回答者数：18名



■ 大根収穫&加工品づくり（12月実施）

回答者数：11名



⇒約9割が参加費用の負担があってもイベントへ参加する傾向にある。

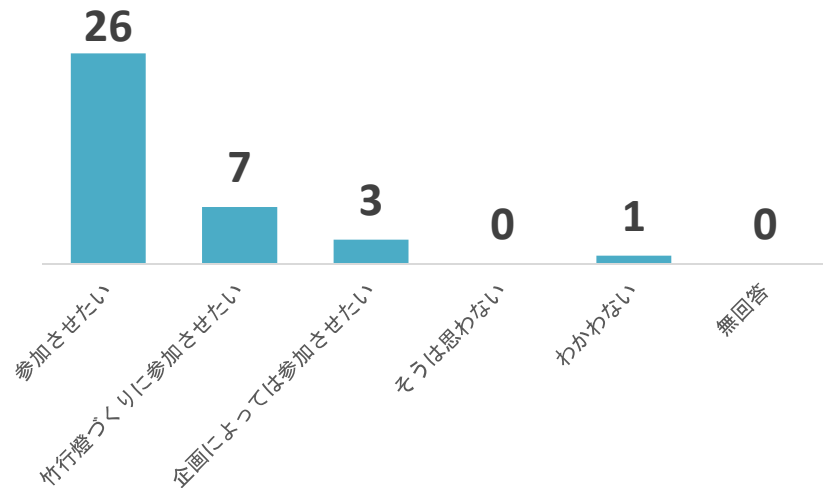
今後、持続的なイベントを開催実施を見据えた、参加費用の徴収も考えられる。



各世代を対象にしたイベントの企画への参加意向 (竹あんどんづくりアンケートより)

■ 今後、黒川で子供向けイベント企画があったら、参加させたいですか？（複数回答）

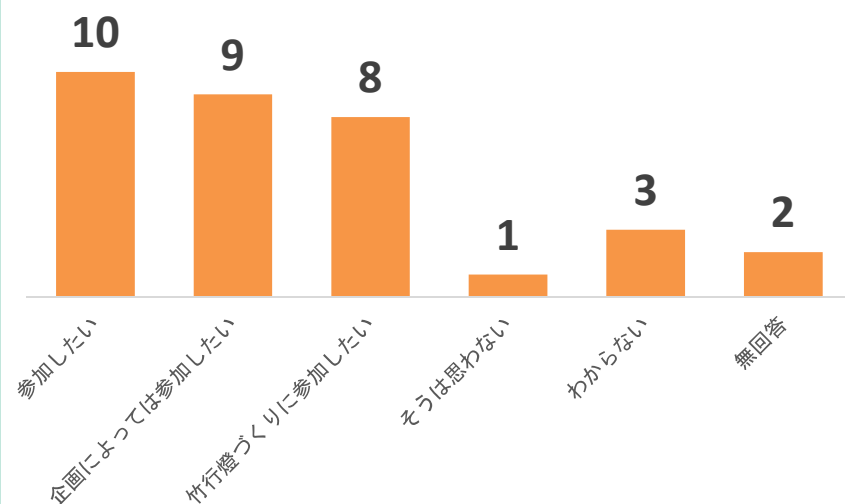
有効回答数：37件



竹あんどんづくりに限らず、子供向けイベントへのニーズは高い。
今後も子供を対象にしたイベント実施による地域の認知度向上は有効。

■ 大人向けの里山保全利活用の活動に参加してみたいですか？

有効回答数：33件



里山保全利活用体験への参加意向は回答者の1/3あった。
子供を対象にしたイベントと同様に、大人向けの企画も認知度向上には有効。